

石巻市歴史文化資料展示施設

整備基本計画(案)

～市民とともに歴史に学び未来を築く石巻の歴史・文化の拠点～

平成21年8月

石巻市教育委員会

御用鑄銭場南北七十七間
東西五十六間
田中惣七
享保十三戊申正月五日

目 次

I 施設の基本方針

- 1. 毛利コレクションについて 1
- 2. 施設の目指すべき方向性 3

II 展示施設整備にあたっての基本方針

- 1. 整備・改修の目的 5
- 2. 基本的な考え方 5
- 3. 整備・改修の基本方針 6
- 4. 全体改修計画 7
- 5. 全体イメージ 8

III 施設で取り組むべき事業

- 1. 事業の基本的な考え方 9
- 2. 全体構成 10
- 3. 展示事業 11
- 4. 利用者サービス事業 12
- 5. 学習支援事業 14
- 6. 調査研究事業 15
- 7. 管理運営事業 16

IV 施設改修計画

- 1. 改修にあたっての基本的な考え方 17
- 2. 建物の概要 18
- 3. 改修範囲 19
- 4. 改修予定の諸室 21

V 展示改修計画

- 1. 展示の基本的な考え方 33
- 2. 常設展示 34
- 3. 毛利コレクションミュージアム 39
- 4. 先人展示 41
- 5. 企画展示 43

I 施設の基本方針

I 施設の基本方針

1. 毛利コレクションについて

毛利コレクションは、石巻市住吉町の故毛利総七郎氏が、およそ70年をかけて収集したコレクションです。

氏は、子どものころ、切手やマッチのラベルを集めたことをきっかけにして、種々の資料の収集に目覚め、さらに沼津貝塚で石の鏝（やじり）を拾ったことで考古学に興味を持つようになり、成長してからは盟友の故遠藤源七氏とともに、自費を投じて南境貝塚や沼津貝塚をはじめとする石巻地域の遺跡の発掘調査を精力的に行い、特に沼津貝塚の発掘調査は明治41年から昭和4年まで長きにわたりました。

その発掘調査は、単にモノの収集にとどまらず、当時の東北帝国大学や専門家との交流、指導に基づく学術的な視点に基づくものであり、数々の成果を挙げました。

それらの成果は広く公表され、東北大学に委譲された沼津貝塚出土資料のうち骨角器など473点が国の重要文化財に指定されています。

コレクションの総数は現在も不明ですが、10万点を越えるともいわれています。その内容は、大きく歴史資料、民俗資料、考古資料、民族資料（特にアイヌ民族関係）、美術工芸品、研究資料などに分けられ、その総数とともに、収集された資料の分野の多様性も、特徴のひとつとなっています。

特に、石巻鑄銭場関係資料は、日本でも数少ない、まとまった近世の銭の鑄造関係資料であり、貨幣の歴史を語る上において欠くことのできないものです。また、アイヌ民族資料は、個人が所有するものとしては日本有数のコレクションです。

そのほかにも、戦前の駅弁の包み紙や、当時の人々が何気なく日常使っていた資料など、今では収集することが不可能な資料も多く、大変貴重なものであるといえます。

主な資料の概要は以下のとおりです。

1. 歴史資料

- 石巻鑄銭場関係資料（鑄造した貨幣・道具類・古文書・絵図等）
- 貨幣関係資料（各種貨幣・藩札等）
- 文献史料（古文書・和漢書・古新聞・出版物等）
- 武具（甲冑・刀剣等）
- 絵図
- 水運関係資料（船名幟・船中道具等）

2. 民俗資料

- マタギ関係資料
 - 庶民文化資料（マッチのラベル82,052点・駅弁の包み紙・玩具等）
 - 燈火具（201点 市指定文化財）
-

3. 考古資料

- 発掘出土資料(沼津貝塚・南境貝塚等)
- 収集資料(日本内外の遺跡からの出土資料)
- 国指定重要文化財 岩版

4. 民族資料

- アイヌ民族資料(710点 市指定文化財)
- 南方民族資料

5. 美術工芸品

- 陶器、土人形(切込焼・埴人形等)
- 漆器
- 金工品(古鏡557点・鐺等)
- 浮世絵
- 工芸品(根付477点・矢立141点・袋物48点等 市指定文化財)
- 装身関係資料(化粧道具240点・化粧用具400点等 市指定文化財)

6. 研究資料

- 拓本
- 写真
- 手紙
- 参考図書

2. 施設の目指すべき方向性

市民が気軽に訪れ、活動・交流する 石巻の歴史・文化の中核施設へ

石巻文化センターは、博物館的機能・美術館的機能・社会教育的機能・情報センター的機能・屋外交流機能をもった複合施設として、昭和61年に開館しましたが、開館後20年を経過し、施設設備の老朽化及び展示技術の進展から、その見直しが必要となりました。

今回、毛利コレクションをはじめ、これまでの調査研究活動によって収集保管されてきた資料を市民共有の財産として保存するとともに、郷土学習等に最大限活用することを目的に、石巻文化センターの展示収蔵環境を改修整備することとなりました。

この改修整備により、市内の他施設との連携を促進し、石巻市の文化交流を活性化させ、広く市民が活動・利用する拠点となり、市外からも多くの人を呼び込めるような施設像を目指すものとします。

●郷土の歴史・文化を継承する石巻学の拠点

これまで行われてきた郷土石巻の歴史・文化に関する調査・研究の成果を活かすとともに、周辺関連施設とも連携しながら多角的な視点からそれらを一層深め、歴史・文化の研究・情報発信の拠点を目指すものとします。

●あらゆる人の学習拠点

人々の学習意欲の高まり・ニーズに応える生涯学習の場として活用してもらうとともに、学校教育とも積極的に連携・支援し、小中学生時代から郷土の歴史・文化に興味・関心をもってもらえるようにします。

●くつろぎ楽しめる新しい文化施設

博物館をとりまく環境の変化により、そのあり方も大きく変わってきています。これまでのように資料を展示するだけでなく、施設において様々な体験・活動・イベントも展開し、市民がくつろぎ、楽しめる博物館としての新しいあり方が求められます。

●市民自ら協働・参画し活用、ともに成長する文化施設

多くの人々に繰り返し利用してもらうために、資料や情報の展示更新はもちろん、市民の積極的な参画や活用が求められます。ボランティアとして館の活動に参画し、市民や利用者の交流・活動を生み出す等成長する施設を目指します。

●他館と連携し石巻の文化を盛り上げ、まちづくりに寄与する

市内の石ノ森萬画館・宮城県慶長使節船ミュージアム等と連携をはかり、石巻の文化を盛り上げその内容を広くアピールするとともに、歴史・文化の拠点としてまちづくりにもつなげられるように展開します。

●市外からの多くの人々を誘客する魅力ある施設

市民はもちろん、市外から訪れる多くの人に、北上川と太平洋とともに発展してきた石巻の特徴ある歴史・文化を知り、楽しんでもらえるよう、観光拠点のひとつとして位置づけ、域外交流の拠点として魅力あるまちづくりの一翼を担います。

Ⅱ 展示施設整備にあたっての基本方針

Ⅱ 展示施設整備にあたっての基本方針

石巻の歴史・文化資源を継承し 活用するための整備を充実します

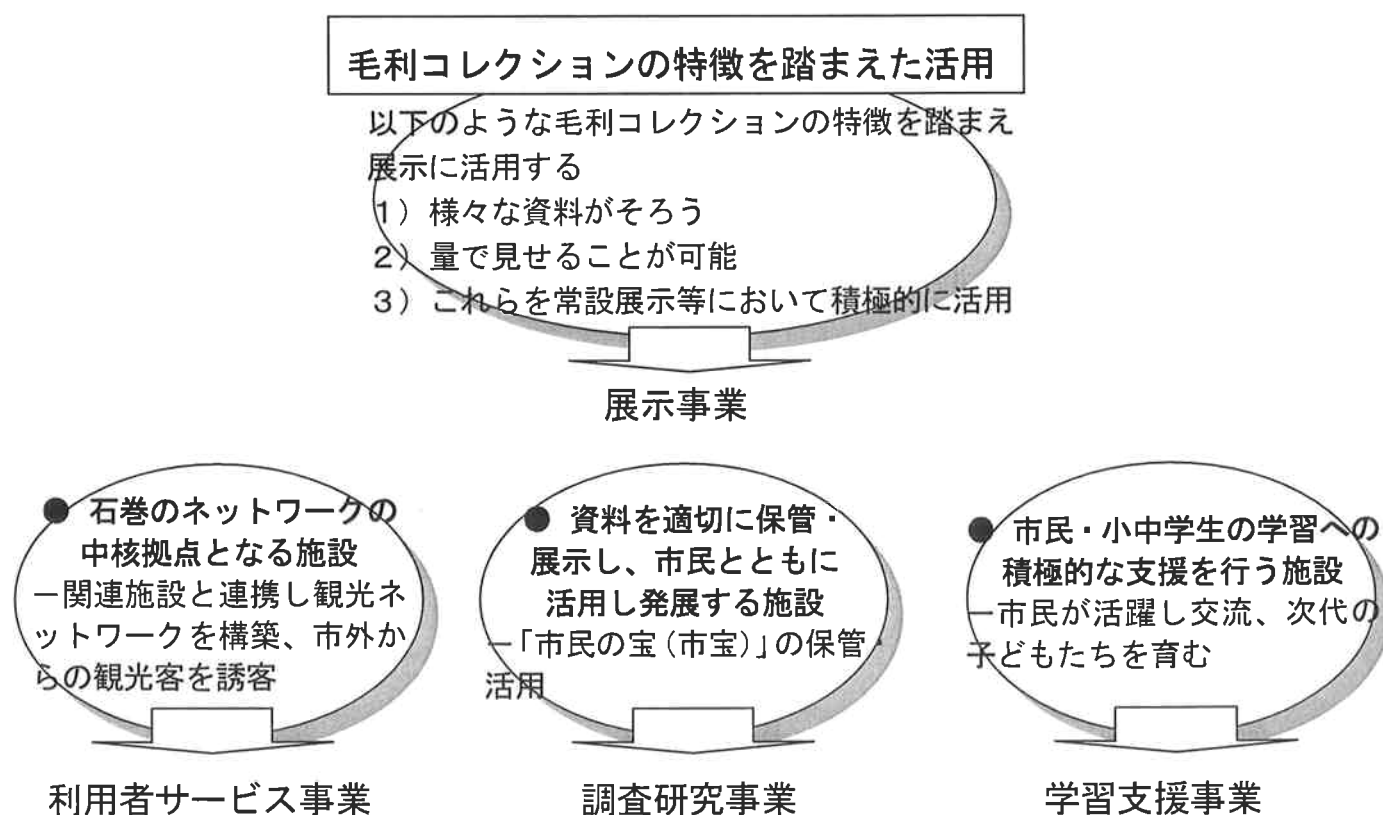
1. 整備・改修の目的

これまで行われてきた発掘調査等で収集され、蓄積されてきた資料や情報を活用すること及びこれらを効果的に見せるための展示技術や、資料を適切に保管するための保存技術の進展にともない、展示を中心とした種々の見直しが求められています。

複合施設としての機能を残しながら、毛利コレクション及び安部コレクションその他新たに収集した資料を活かし、常設展示室・収蔵設備等を見直し、博物館機能を充実した施設として整備することとします。

2. 基本的な考え方

展示施設整備にあたって、以下のような考え方をもとに各事業に反映させるものとします。



3. 整備・改修の基本方針

①毛利コレクションの積極的な活用

・毛利コレクション等の資料は、石巻の歴史を語る重要なもので、これらを最大限に活かし、地元石巻の先人のあゆみを伝えていくため積極的に活用する。

②展示の更新性・利便性の向上

・収蔵資料や発掘調査等による新しい発見・研究成果をタイムリーに発信し、柔軟な変化に対応できるよう使い勝手を考慮した展示のシステム・ケース等を配置する。

③資料の保存環境の充実

・毛利コレクションをはじめ豊富な資料を、資料の材質に合わせた保存環境のもと、適切に保管し活用できるような整備を行う。

④市民の参画と協働を促す

・施設を永続的に充実したものとするため、実物資料を活かした展示とともに、これらを活用し、活動していくため、学校教育や生涯学習での利用をはじめ、市民が参画した様々な活動の場となることを目指す。

これらの整備により、より身近に毛利コレクションや歴史資料にふれ、市民が交流し文化の発展に寄与する施設となるリニューアルとする

Ⅲ 施設で取り組むべき事業

Ⅲ 施設で取り組むべき事業

市民の積極的活動を促す石巻の歴史・文化資源を活用した 多彩な事業活動を展開します

1. 活動事業の基本的な考え方

文化センターは、展示を中心とした改修により、訪れた市民や域外の人々が、石巻の歴史・文化について学ぶとともに、様々な活動を通して交流をはかる拠点施設とすることを目指します。特に多くの人々に利用してもらえるよう、多様なニーズに対応した様々な事業を展開することとします。

●豊富な資料を活用した事業

20年以上にわたる運営の中で蓄積されてきた成果や豊富な資料を活用し、展示や体験活動など様々な学習機会を提供していきます。

●石巻の歴史・文化に関する情報・成果を発信し続ける

展示をはじめ、様々な活動を支えていくのは日常的な調査・研究活動といえます。これらの成果を展示や活動に還元することで、常に最新の情報を提供することが可能となり、リピーターの確保につながります。

●多様な人が学び、利用する事業

小中学生から高齢者まで多様な人々が郷土石巻について積極的に学び、調べていく環境・機会を設けます。また、受動的な学習の場の提供に留まらず、市民自らが館の活動に参画し、協力しながら運営をもち立てるような事業を展開します。

2. 全体構成

当施設で行う活動は、これまで行われてきた展示・調査研究事業に加え、新たに利用者の視点に立った様々な事業を積極的に行うものとします。特に各種の事業の推進にあたっては、市民との協働・参画を念頭に、以下のような事業を行うものとします。

○展示事業

- ・メインテーマ「大河と海上の道」を継承しながら、毛利コレクションを活用し展示更新しながら石巻の歴史と人々の暮らしをたどる構成とする。

○利用者サービス事業

- ・利用者の視点にたった博物館としての情報提供等様々なサービス活動を展開する。

○学習支援事業

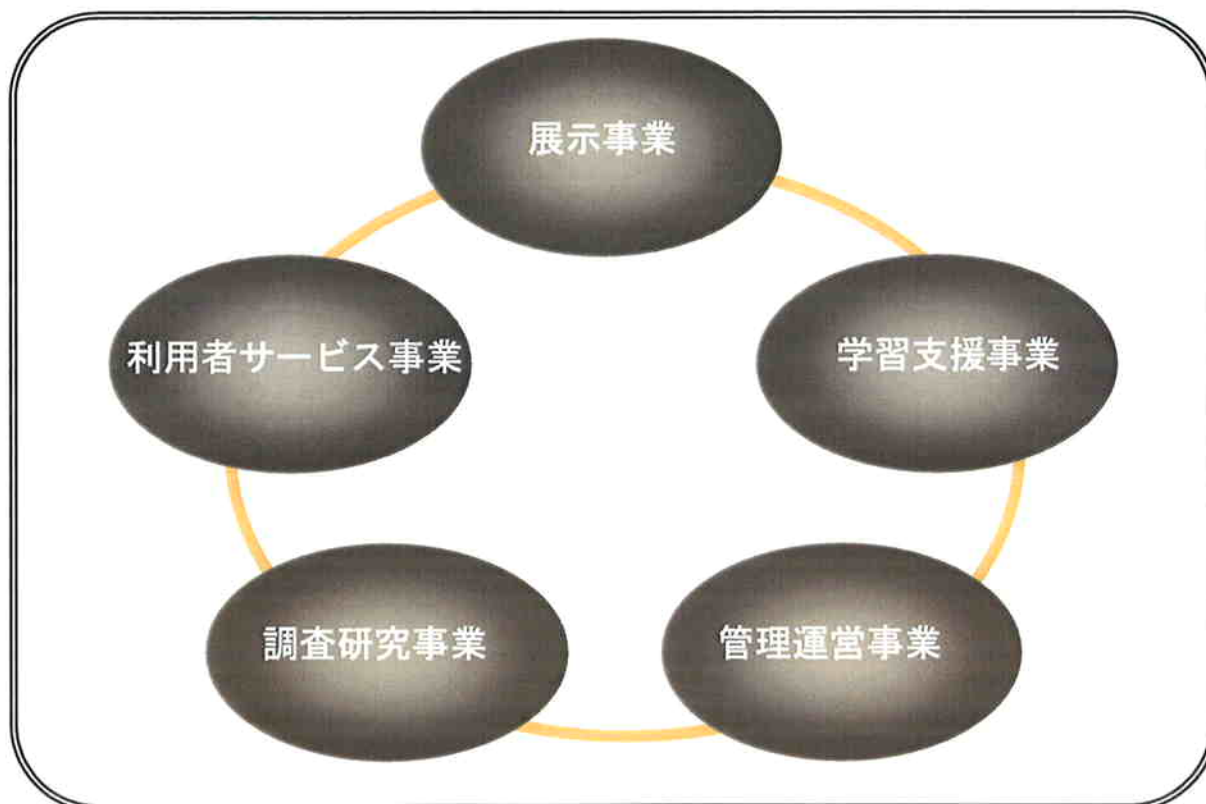
- ・学校教育と生涯学習への支援を柱に、多様な学習機会の提供と資料・情報の提供を行う。

○調査研究事業

- ・毛利コレクションをはじめ石巻の歴史・文化について調査研究し、その成果・情報を発信・活用する。

○管理運営事業

- ・展示・活動・イベント等を総合的・効率的に運営する施設の要となる事業。



3. 展示事業

鑄銭場や製塩・木彫等石巻の特徴ある歴史・文化資源、 定期的な展示替えでその魅力を発信する事業

展示事業は、訪れた人に石巻の歴史を伝えるとともに、地元の歴史に対する興味関心をもってもらいきっかけとなる最も身近な事業でもあります。

展示では、これまでに収集した資料の活用や調査研究の成果の反映のため、常設展示においても1～2年の短いスケジュールで積極的に展示替えするなど、より親しまれる展示を行うこととし、主に以下のような展示事業を展開します。

①常設展示

施設の中核となる展示で、常設展示室にて「大河と海上の道」をテーマに石巻の歩みを紹介する。特にオープン以後の調査の研究による新しい成果や、毛利コレクションをはじめ収集した資料等を活用し、定期的に入れ替え可能な展示を行う。

②先人展示

石巻の先人が遺した業績と人物等を、写真パネルや各種資料により紹介する。

③毛利コレクションミュージアム

毛利総七郎氏の功績を紹介するとともに、様々な資料がそろった毛利コレクションの特徴を活かすため、テーマに基づき、1～2年の期間で定期的に資料を入れ替え、企画展的な常設展示を行うなど、変化に富んだ展示を展開する。

④企画展示

石巻の歴史・文化・美術等幅広いテーマのもと年数回企画展示を開催する。特にこれまで収蔵してきた木彫作品等も積極的に活用したミニ収蔵品展も定期的に開催する。

又、センター主催の他、他館との連携や市民の発表・活動の場としても活用できるようにする。

⑤その他館内展示

1階から2階への階段を活用し期待感を高める展示や、2階ロビーを活用した展示を行う。

4. 利用者サービス事業

博物館体験をより充実したものにするための事業

文化センターではこれまでの展示事業中心の活動から、さらに市民をはじめとした多くの利用者が石巻の歴史に興味・関心をもってもらい、また市民の新たな活動の場として活用できるよう石巻の歴史・文化等に因んだ様々な事業・サービスを展開します。

①インフォメーションサービス

利用者からの施設や展示に関する疑問・質問に応えるとともに、展示案内や周辺施設への案内等行う。

- ・レファレンス（各種相談）対応
- ・展示案内、解説ツアー
- ・周辺観光案内（周辺観光地情報や行き方等）
- ・バックヤードツアー（収蔵庫見学等）
- ・団体見学等への対応



②体験学習・ワークショップ

特に石巻に因んだメニューを用意し、一般向けや子ども向けの体験学習講座等を定期的に開催する。

<体験メニュー例>

- ・土器作り・石器作り（石器を作って実際に調理まで体験）
- ・塩作り（夏休みを利用し、土器作りから塩作りまで一貫した流れを体験する連続講座）
- ・骨角器作り（シカの角を利用し釣り針作りを体験、さらにそれで魚を釣ってみる）
- ・板碑の拓本をとってみる

③イベント

館内はもちろん他館との連携も考慮した各種のイベントを随時開催する。

- ・屋外芝生広場を活用した各種イベント開催
- ・グラントホールでのミニコンサート
- ・夏休みクイズラリー等（他館との連携も含む）
- ・企画展に合わせてテーマに因んだイベントの開催

（2009 年は「旅」をテーマに文化の日に開催、展示室は無料とし屋外広場等も活用したイベントや昭和の給食メニューも提供）

④ミュージアムサポーター

- ・ミュージアムサポーターの育成・研修
- ・ミュージアムサポーターを市民学芸員と位置づけ、毛利コレクションや各種文化財の調査・整理に参加
- ・ミュージアムサポーターによる自主的な市内の歴史・文化に関する調査・研究・発表（2F ロビーに案内カウンターを設置、また館内に作業可能なサポータールームを確保することも検討）
- ・ミュージアムサポーターによる展示案内、周辺施設案内



⑤その他サービス

- ・収蔵資料にちなんだオリジナルグッズやメニューの開発・販売
- ・1階研修室ロビーや2階ロビー等を活用した休憩スペースの充実
- ・展示解説書・図録等の発行、小中学生用等を用意

5. 学習支援事業

子どもから高齢者までそれぞれの学習意欲を支援する事業

小中学生や一般市民に、郷土の歴史・文化への興味・関心を広く喚起し、理解を深めてもらい、多様な学習機会を提供し自主的な学習を積極的に支援します。

①学校との連携・活動

石巻の歴史・文化・毛利コレクション等多様な歴史資源を活用し、学校での学習に活用してもらえるよう様々な学習プログラムを用意し、資料の貸し出しや体験学習の指導等を行えるようにする。

・総合学習・調べ学習への支援

(収蔵資料を活用し、江戸時代等の人々の暮らしをより深く調べてみる等子どもたちが自ら学習するためのサポート)

・出前授業を行い、子どもたちに考古資料等実物に触れさせ体験させる

・出前展示として実物資料や貸し出し用パネル類等を用意し、市内の各地域や学校等へ展示が可能なようにする

- ・授業用資料の貸し出し相談
- ・団体見学のための事前学習相談
- ・学習用教材・ワークシートの開発
- ・教職員の研修の支援



②生涯学習の支援・活動

一般市民の郷土学習・生涯学習への興味・関心と学習意欲、さらには館へのボランティアへの参画等様々な要望等に応えられるよう支援を行う。

- ・市民向けの石巻の歴史・毛利コレクションに関する講座を開催
- ・企画展示に合わせた記念講演会・シンポジウム等を開催
- ・各地区での出張講座・出張展示等の開催

③市内外関連施設との連携

石ノ森萬画館・宮城県慶長使節船ミュージアム等、市内外の文化施設・研究機関等と連携した共同の企画展・巡回展等と開催する

- ・共同企画展・テーマ展の開催
- ・巡回展の開催
- ・石巻専修大学の文化祭でのタイアップミニ企画展示等



6. 調査研究事業

**石巻の歴史・文化を継続的に調査・研究し、
館の各活動に反映させる事業**

石巻の歴史・文化に関して広く調査研究を行うとともに、関連する資料の収集保管を行います。またそれらの成果を広く情報として一般に発信するとともに、展示において随時公開します。特に毛利コレクションに関しては、扱う分野・資料数も多数あることから、今後継続して調査研究を行っていきます。

①毛利コレクションの調査・研究

毛利コレクションを継続的に調査・研究し資料のデータ化等を行い、その意義等を明らかにし、広く公開・活用可能なように整備する。

②石巻の歴史・文化に関する調査・研究

石巻を中心とした郷土の歴史・文化に関する調査研究を行う。他館や関連する施設との共同研究等にも積極的に取り組むものとする。

- ・石巻地域を中心とした歴史・文化に関する調査・研究
- ・扱う分野は考古・歴史・民俗・美術とする
- ・他館・関連施設・研究機関等との専門的な共同研究

③関連する資料の収集保管

石巻の歴史・文化に関する資料を収集し、継続的に適切に保管する。また、一般からの資料の寄贈等受入についても、内容を精査し収集する。

④石巻の歴史資料に関するデータベースの構築

毛利コレクションや収蔵資料はデータベース化し館内の展示やホームページ等で閲覧できるようにする。

⑤調査研究成果の情報発信・展示等での公開

調査研究の成果は出版物やホームページ上を通じて随時広く一般に公開する。また、常設展示においても定期的に資料の入れ替えやテーマの見直しを行うとともに、企画展示として公開する。

- ・常設展示における定期的な資料の入れ替え
- ・企画展示による調査研究成果の公開

7. 管理運営事業

館の利用・活動を促し、全体を統括、支える事業

管理運営は館の各種活動を行う上でこれらを支え、要となる重要な事業です。利用者の視点に立ち、満足度の高いサービスを提供するとともに、効率的な管理運営を行うものとします。

①広報・開発活動

施設の利用促進をはかるため、関係方面へ積極的なPR活動を展開する。

- ・石ノ森萬画館・宮城県慶長使節船ミュージアム等市内関連施設との共通割引チケット等の販売
- ・季節に合わせた催しや他館と連携したイベント開催
- ・市内の学校をはじめ周辺市町村の学校への企画展・出前授業等についてのパンフレットの配布・説明
- ・旅行代理店等への協力
- ・公共施設・公共交通機関等へのポスターの配布